

はじめに ~ブロックチェーン≠暗号資産~

ブロックチェーンは暗号資産でしか使わない?

- ・暗号資産はブロックチェーン上で発行されたトークンを指すことが多い。
- ・そのため、ブロックチェーンといえば暗号資産、というイメージは強いが、暗号資産以外の用途でも注目されている。

すべての暗号資産はブロックチェーンベース?

・ブロックチェーン以外の技術を用いた暗号資産もある。 例)有向非巡回グラフ(DAG)



「ブロックチェーン=暗号資産」というイメージの鎖は断切る。 ブロックチェーンの応用範囲は未知数。

ブロックチェーンはまだ発展途上

- ・ブロックチェーンは夢のツールではない。
- ・ブロックチェーンはたくさんの種類があり、それぞれ得意/不得意がある。
- ・ブロックチェーン技術は、「日々」進化し続けている。 <u>「本質をとらえて、適切な技術選択を行</u>うことが大事」

Key

・ブロックチェーンとは何かを理解する。

・国際的に標準化された定義はまだない(はず)

日本ブロックチェーン協会の定義

- I)「ビザンチン障害を含む不特定多数のノードを用い、時間の経過とともにその時点の合意が覆る確率が0へ収束するプロトコル、またはその実装をブロックチェーンと呼ぶ。」
- 2) 「電子署名とハッシュポインタを使用し改竄検出が容易なデータ構造を持ち、且つ、当該データをネットワーク上に分散する多数のノードに保持させることで、高可用性及びデータ同一性等を実現する技術を広義のブロックチェーンと呼ぶ。」

[参考]ブロックチェーンの定義

・国際的に標準化された定義はまだない(はず)

国際標準化機構(ISO)における定義(ドラフト版)

- 3.6 blockchain
 distributed ledger (3.22) with confirmed blocks (3.9)
 organized in an append-only, sequential chain
 using cryptographic links (3.16)
 Note I to entry: Blockchains are designed to be tamper
 resistant and to create final, definitive and
 immutable (3.41) ledger records (3.45).
- 3.22 distributed ledger

 Ledger (3.44) that is shared across a set of DLT nodes (3.27) and synchronized between the DLT nodes (3.27) using a consensus mechanism (3.12)

 Note I to entry: a distributed ledger is designed to be tamper resistant, append-only and immutable (3.41) containing confirmed (3.8) and validated (3.81) transactions (3.77).

ブロックチェーンとは何か

- ・データを「ブロック」と呼ばれる単位に記録し、そのブロック を時系列順に「チェーン」状につなげて保存する分散型の台帳 (データ構造)、あるいはそれを実現する分散型台帳技術。
- ・分散型台帳: ネットワークの参加者(ノード)で管理される追記専用の台帳

もっと大雑把に言うと、

- ・「信頼すべき管理人」を置かずに、みんなでデータを保持/記録/ 管理したい。
- ・管理人はいないけれど、管理するデータはみんなでお互いに確認 をしあうことで、なんとか<mark>信頼を担保</mark>することにしよう。

じゃあ、それを実現するための、

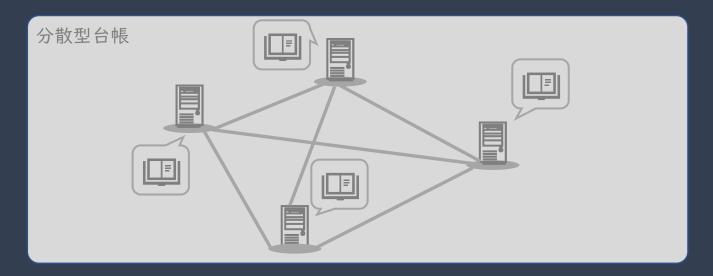
- ・データの共有の仕方
- ・データの記録の仕方
- ・簡単にデータが正しいことを確認できる方法

等を真摯に考えてみましょう!

という世界があり、その世界における一つの解がブロックチェーン。

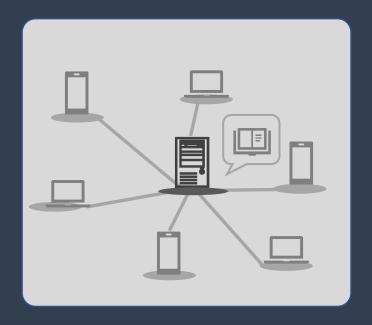
ブロックチェーンとは何か

- ・データを「ブロック」と呼ばれる単位に記録し、そのブロック を時系列順に「チェーン」状につなげて保存する分散型の台帳 (データ構造)、あるいはそれを実現する分散型台帳技術。
- ・分散型台帳: ネットワークの参加者(ノード)で管理される追記専用の台帳



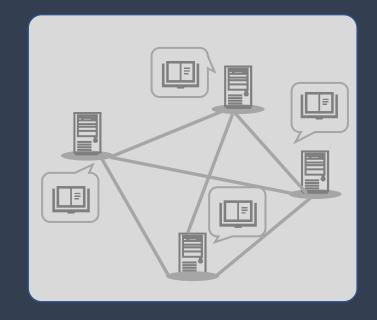


分散型



中央管理型

- ・既存のシステムの多くは中央管理型
- ・中央の管理者に権限が集中する。

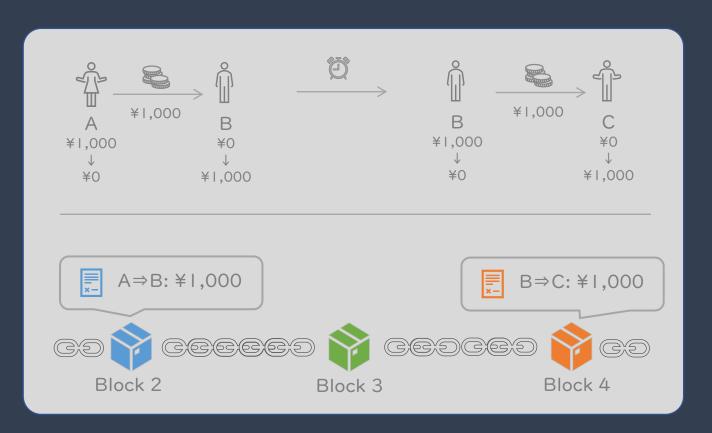


分散型

- ・ネットワーク参加者(ノード)に分散
- ・各ノードは対等な関係。

データ構造

・データを「ブロック」と呼ばれる単位に記録し、そのブロック を時系列順に「チェーン」状につなげて保存する。



ブロックチェーンの歴史

- ・昨今のブロックチェーンのコンセプトは、「ビットコイン」の 中核技術として整理され、誕生した。(とされている。)
- ・イーサリアムの誕生により、「スマートコントラクト」が普及。 金融分野を中心に大きな広がりを見せる。 非金融分野での活用も期待感が広がり始める。
- ・ブロックチェーン群雄割拠の時代に。



次世代チェーンの登場/既存チェーンの発展



~はじまりの書~

"Bitcoin: A Peer-to-Peer Electronic Cash System"

2008-10-31にSatoshi Nakamotoによって投稿された1本のホワイトペーパーからすべてがはじまった。

たった9ページの論文だったが、世界に革命をもたらすには十分だった。

Satoshi Nakamotoは何を願いBitcoinを生み出し、なぜ姿を消したのか。

Satoshi Nakamotoの想い描いた世界に近付いているのだろうか。

ブロックチェーンの歴史

ビットコインの解決しようとした課題

既存の電子取引:

"trusted third party" が介在

電子取引固有の問題である「二重支払い問題」等の不正使用を防止するため に、信頼できる第三者が必要とされて きた。



しかし、

上記モデルには様々な弊害がある。

- ・取引コスト増加する
- ・取引規模の制限 される(少額取引ができない)
- ・third party システムへ依存することとなる
- ・third partyをそもそも利用できない人がいる

ブロックチェーンの歴史

ビットコイン: 分散型のキャッシュシステム

Satoshi Nakamotoの提案:

- "trust" を「暗号学的証明に基づく電子取引システム」 で置き換える「分散型のキャッシュシステム」
- →利用者同士の直接的な取引を可能とする。

ブロックチェーンの技術基盤確立

・ビットコインを実現するための、 「取引データを分散して生成/処理/管理」

する技術コンセプト

→ブロックチェーンの基盤となった

~青く輝く神秘の石~

少年は恐怖した。 彼のお気に入りは一瞬にして奪われた。

悲しみに暮れる少年は、ビットコインと出 会いその才能を開花させていく。

Ethereum、若き天才魔術師が生み出した 青く輝く神秘の石は、今、世界を大きく変 革しようとしている。



ブロックチェーンの歴史

| イーサリアムとは?

- ・分散型コンピューティングプラットフォーム:
- →金融取引以外の分野でもブロックチェーンを使いやすくなる ように拡張された。
- ・2013年、ヴィタリック・ブテリンによって、「Ethereum: The Ultimate Smart Contract and Decentralized Application Platform」(和訳 イーサリウム:究極のスマートコントラクトと分散型アプリケーションプラットフォーム)という題名のブログポストで提案され、2015年にローンチされた。

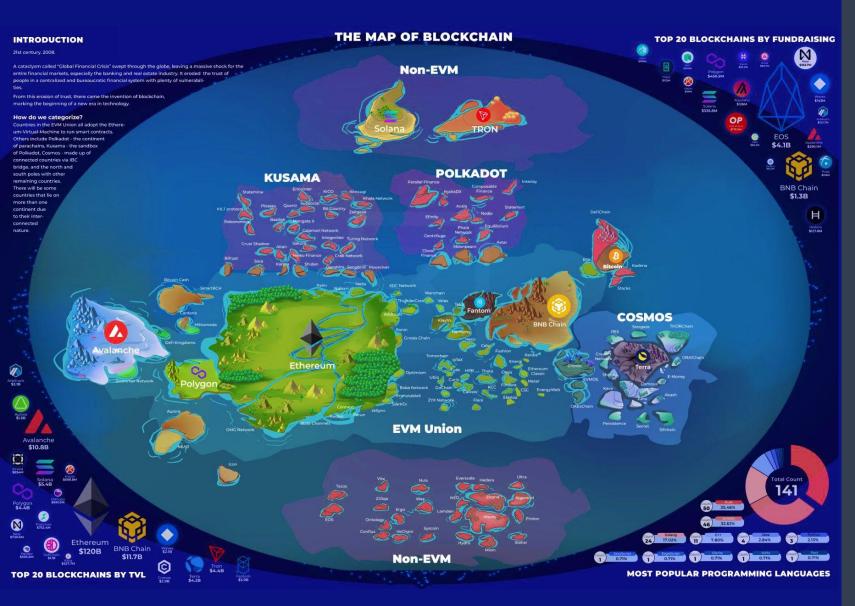
大きな特徴

スマートコントラクトの概念の取込み

- ・スマートコントラクト= 「自動的に契約を履行する仕組み」
- ・ブロックチェーン上に契約を履行する条件をコードとして記録しておき、条件合致したら自動的にブロックチェーン上での情報の移転が行われる。

トークン発行機能

- ・オンチェーンで独自のトークンを発行できる。
- →Dapps(分散型アプリケーション) 発展の契機に



~群雄割拠~

世は、群雄割拠の時代を迎える一。

猛者どもは、しのぎを削り、 栄華を極めるものあれば、 滅んでいくものあり。

待つ未来は、淘汰か、共存か。

はたや、更なる強者による破滅と再生か。

その答えが出たとき、人類はまた大きく 一歩、歩みを進めることができるだろう。

Short Break

~ビットコインピザデー~

2010年5月22日、ビットコインが初めて 現実世界で商品の支払いに使用された。 ラズロ・ハニエツという名のプログラマー がアメリカのPapa John's Pizzaのピザ 2枚を1万BTCで購入したのだ。

以来、ビットコインピザデーとして5月22 日は祝われている。

当時の価格では41ドルであったビットコイン、今では…などと考えるのは、野暮というものだろう。



Key

・ブロックチェーンとは何かを理解する。

ブロックチェーンの中核技術

ハッシュ関数



耐改竄性を高める

電子署名



真正性を証明する

P2Pネットワーク



耐障害性/非中央集権性を高める

ブロックチェーンの中核技術

ハッシュ関数



耐改竄性を高める

電子署名



真正性を証明する

P2Pネットワーク



耐障害性/非中央集権性を高める

一方向性ハッシュ関数 ~改ざん耐性を高める技術~

- ・任意長の入力メッセージに対して固定長のハッシュ値を出力する関数。
- ・ビットコインでは、"SHA256"というアルゴリズムを使用している。
- ・「一方向性」という言葉が示すとおり、出力値から入力値を求めるのが(ほぼ)不可能。

入力值	出力值
ビットコイン	b89ae3280372363341c1acef577b58d1e5b7df65a3775c7c8f1788aef9a04b66
びっとこいん	16900e928c0c5a10700a2445dd28614a8da5824b8cfac30f28b7a4ad53a2dce3
bitcoin	6b88c087247aa2f07ee c5956b8e a9f4c7f892a70e324f bb3d 6 e05ca 07b
Bitcoin	b4056df6691f8dc72e56302ddad345d65fead3ead9299609a826e2344eb63aa4



b89ae3280372363341c1acef577b58d1e5b7df65a37 75c7c8f1788aef9a04b66



改ざん検知

| 16900e928c0c5a|0700a2445dd286|4a8da5824b8c | fac30f28b7a4ad53a2dce3

ブロックチェーンの中核技術

ハッシュ関数



耐改竄性を高める

電子署名



真正性を証明する

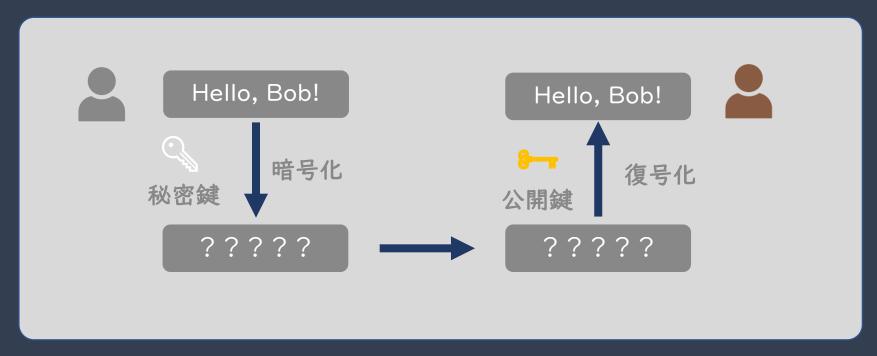
P2Pネットワーク



耐障害性/非中央集権性を高める

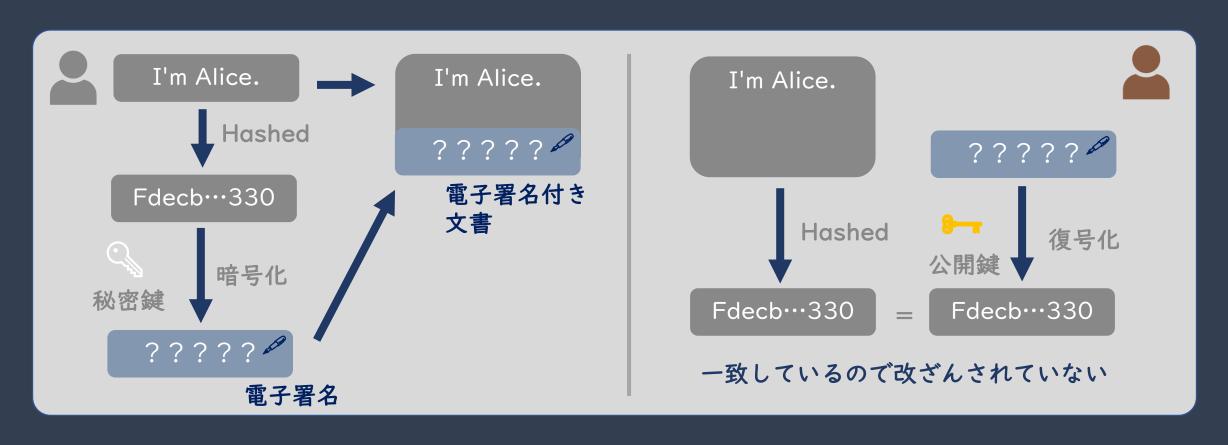
電子署名 ~真正性を証明する技術~

- ・デジタル文書の作成者を証明する電子的な署名。
- ・「公開鍵暗号方式」と「一方向性ハッシュ」を用いた電子署名について解説する。
- ・「公開鍵暗号方式」とは、「秘密鍵」と「公開鍵」の2種類のカギを生成して文書を暗号化する方式。
- ・下図のように、「秘密鍵」を用いて暗号化した文書は、「公開鍵」をもってのみ復号化することがで きる。



電子署名 ~真正性を証明する技術~

・「公開鍵暗号方式」と「一方向性ハッシュ」を組合わせて、以下のような電子署名検証が可能となる。



電子署名 ~真正性を証明する技術~

・「公開鍵暗号方式」と「一方向性ハッシュ」を組合わせて、以下のような電子署名検証が可能となる。



ブロックチェーンの中核技術

ハッシュ関数



耐改竄性を高める

電子署名



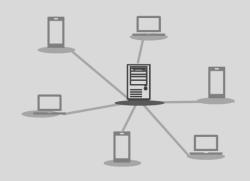
真正性を証明する

P2Pネットワーク



耐障害性/非中央集権性を高める

P2Pネットワーク ~自律分散性を支える技術~



クライアントサーバ型

- ・中央でシステムを管理をする「サーバ」と、システムを利用する「クライアント」がネットワークでつながっている。
- ・多くのシステムはこの方式を採用している。



P2P方式

- ・特定のサーバーやクライアントを持たず、ノード と呼ばれる各端末が対等(peer) に直接通信する。
- ・システムが分散されており、一部のコンピュータ がダウンしたとしてもシステム全体は動き続ける。
- ·応用例) Winny

ブロックチェーンの中核技術

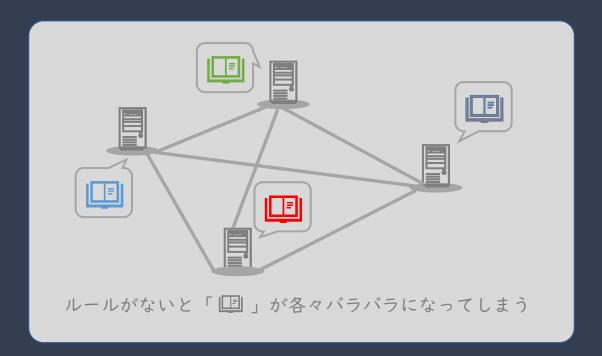
コンセンサスアルゴリズム



合意形成を行う仕組み

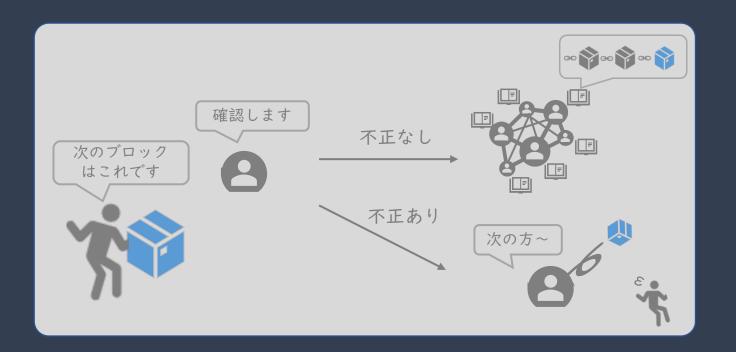
合意形成の必要性

- ・中央集権型: 中央の管理者がすべて管理をする。
- ・分散型: ネットワーク参加者の間で管理をする。 <u>⇒仕組みを整えないと、台帳に</u>齟齬が出てしまう。



コンセンサスアルゴリズム

- ・台帳に齟齬が出ないようにするにはどうすればよいか?
 - ⇒ブロックチェーンの解:
 - 新しく追加するブロックを何かしらの方法で1つ選定し、 台帳の保持者は、選定されたブロックが不正のないブロック であることを確認した後、自分の持つ台帳に追加する
- ・このような仕組みを「コンセンサスアルゴリズム」という。



コンセンサスアルゴリズムの代表例

- ・コンセンサスアルゴリズムは、各ブロックチェーンを特徴づける要素の1つ。
- ・以下は代表例であり、他にも様々なものがある。

Proof of Work (PoW)



- ・早い者勝ちでブロックを作ろうというコンセプト
- ・総当たり式の数あてゲームを実施して、一番最初に ゲームをクリアしたノードの作成したブロックを 追加する。
- ・このゲームのことを「マイニング」、ゲーム参加者 を「マイナー(採掘者)」と呼ぶ。
- ・マイニングは大変な労力(電力/マシンリソース)が 必要となるため、 $\mathsf{Proof}\ \mathsf{of}\ \mathsf{Work}$ と呼ぶ。

Proof of Stake (PoS)



- ・ブロック作成者をランダムで選ぶというコンセプト
- ・ブロックの作成者になるには、チェーンの基軸通貨 を所持する必要がある。
- ・所持量が大きいほど、選ばれやすくなる。
- ・PoWとは異なり、大きな電力やマシンリソースは必要とされない。
- ・チェーンの基軸通貨を所持することが必要とされる ため、Proof of Stakeと呼ぶ。

コンセンサスアルゴリズム

~インセンティブとゲーム理論的要素が絶妙に組合さって構築~

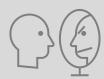
・多くのコンセンサスアルゴリズムでは、誠実に行動することは 不誠実に行動する(不正なブロックを作成する)よりも多くの利 益を得られるようなメカニズムとなっている。

インセンティブ



- ・トランザクション手数料
- ・新規発行通貨 (発行がある場合)

不正時の不利益



- ·PoW: 電力やマシンリソース
- · PoS:暗号資産
 - 多くの暗号資産を所持した状態で、チェーンの 価値を下げるような不正な行為はしないだろう という考え。

スマートコントラクト



コントラクトを自動履行する 仕組み

スマートコントラクトとは?

- ・ニック・スザボは「自動的に契約を履行する仕組み」を「スマートコントラクト」と呼んだ。
 - ニックはその例として、「自動販売機」を挙げた。

自動販売機の例



履行条件

商品の金額分のお金を入れて、ボタンを押すと商品が出てくる。

イベント

- ①商品の金額分のお金を入れる。
- ② 希望商品を選択する。

契約の履行/価値の移転

- ・商品が出てくる。
 - ⇒ お金: 販売者へ
- ⇒ 商品: 購入者へ

ブロックチェーンの文脈でのスマートコントラクト

・ブロックチェーン上に契約を履行する条件をプログラムとして組み込み、条件合致したら自動的にブロックチェーン上での情報の移転が行われるような仕組み。→ Code is Law

例) 航空機の遅延保険:

航空機の遅延時間と保険金の条件をBC上にプログラムとして組み込んでおくことで、航空機が遅延した場合に自動的に保険金を支払い/受け取ることができる。

メリット



- ・管理者不在の下,取引を自動化させられる。

デメリット



- ・一度ブロックチェーン上に記録されたスマートコントラクトのプログラムは後から変更することができない。
- ・プログラムの不備があった場合の責任の所在は?
- ・プログラムで表現できないようなものは不可。

オラクル



ブロックチェーンの世界と 外の世界をつなぐ

ブロックチェーンの周辺技術要素

オラクル

- ・ブロックチェーン上に、ブロックチェーン外のデータを取り込む仕組み。
- ・スマートコントラクトの履行条件として、ブロックチェーン外の データを用いることが多いため、オラクルの存在は重要である。
 - 例) 航空機の遅延保険のスマートコントラクト:

航空機の遅延時間と保険金の条件をBC上にプログラムとして組み込んでおくことで、航空機が遅延した場合に自動的に保険金を支払い/受け取ることができる。

⇒「航空機がどれくらい遅延したか」という情報はブロックチェーンの外の世界の情報。

オラクルの分類

	単一型オラクル	分散型オラクル			
	(Single oracle 又は Centralized oracle)	(Decentralized oracle)			
データ取得方法	信頼できる第三者機関(TTP: Trusted	複数の情報源からデータを取得し,情			
	Third Party)を単一の情報源としてデー	報の妥当性について合意形成を行う			
	タを取得				
特徴	非常にシンプルな作りであり, 運用の利	TTP が存在しない分野でも利用できる			
	便性が高い				
課題	TTP が存在しない分野では利用できない	• 取得したデータの検証・合意形成に手			
		間がかかる			
		• 検証が正しく行われるためのインセン			
		ティブ設計が非常に難しい			
実装・利用状況	オラクルの実装例のほとんどが単一型	事例はまだごく少数			

Hot Topics: スペースデブリの監視

Slingshot Aerospace



Slingshot Aerospace社はおよそ1年前にBeaconをローンチし、プラットフォームのユーザー数を増やせたらと、このたび無料のベーシック版を衛星事業者に提供することにしたのでした。「この1年間、データに圧倒されないよう選ばれた少数でテストしてきました」とStricklan氏。「そして私たちには世界規模へと拡大する準備が整ったという100%の自信があります」と語っていました。無料版を提供することで、より精度が高くて精緻化されたデータを提供する同プラットフォームの有値版を求める衛星事業者も出てくるだろうと同社は見込んでいます。

NorthStar

NorthStarについて

NorthStar は、宇宙ベースのセンサーを使用した独自の宇宙と地球の情報およびインテリジェンスプラットフォームを通じて、地球を保護するために人類に力を与えることを目指しています。 NorthStar は、政府、業界、および機関が地球および宇宙環境の持続可能な開発を促進するためにリスクを評価し、規制を実施し、意思決定を行う方法の変革を支援しています。

NorthStar 独自の宇宙ベースの商用宇宙状況認識サービスは、すべての衛星オペレーターが直面する重要かつ差し迫った課題の多くに対処します。 NorthStarは、あらゆる軌道のすべての物体を観測するよう努めており、現在の他のどのシステムよりも頻繁かつ正確に宇宙にある物体を観測します。 NorthStar は、その比類のないカバレッジ、オブジェクト管理、および強化された予測分析から得られる一連の高速意思決定品質情報サービスを通じて、宇宙情報およびインテリジェンス サービスを生成します。

2023年、NorthStarは、すべての近地球軌道域を同時に監視し、より広い範囲での宇宙物体の正確な検知と追跡を可能とする初の商用ISSAサービスを打ち上げる予定です。同社のスペースインフォメーション&インテリジェンス(Si2)サービスは、すべての衛星運用者にとって、宇宙船をより適切に管理し、宇宙飛行の安全性を高め、そしてスペースサステナビリティを確保するのに役立ちます。

Hot Topics: スペースデブリの監視

Privateer Space

WIRED 宇宙ビジネスが生み出す「価値そのもの」が重視される時代がやってきた: 「SPACETIDE 2022」レポート

スペースデブリの監視はマネタイズすべきか?

衛星の打ち上げ機数が年々増え、スペースデブリ(宇宙ゴミ)の問題が深刻化している。こうしたなか、軌道 上の衛星やデブリを監視するシステムの需要も高まっている。

アップルの共同創業者のスティーブ・ウォズニアックが21年9月、「ほかとは違う民間企業を立ち上げています」とTwitterで発表し、話題を呼んだ。ツイートに添えられていたのは、彼が立ち上げたスタートアップであるPrivateer Spaceのコンセプト動画。同社が宇宙の安全を保ち、全人類が宇宙にアクセスできるようにする目標を掲げていること、そしてロボットや人工知能(AI)の開発を手がけるスタートアップRipcordを創業したアレックス・フィールディングが共同創業者であることが明らかになった。

その後、Privateer Spaceは22年3月、軌道上の衛星やスペースデブリを追跡して視覚化するプラットフォーム「Wayfinder」をリリースした。軍や民間企業が提供するデータを基に、衛星やスペースデブリがどのくらいのスピードで、どの方向へ向かっているのかを無償で確認できる。

さらにPrivateer Spaceは、特定の衛星などに20分以内に接近する可能性がある物体を把握するサービスを、まもなくリリースするという。このサービスを提供するうえでの課題は、衝突のリスクがあるとわかったときに誰が優先権をもち、誰が衛星やスペースデブリの軌道を変更する義務を負うのか、最もリスクが低い対応は何なのか―といったことについて、コンセンサスを得ることが難しい点である。



[WIRED Thursday Editor's Lounge | 本格始動! いま いちばん会いたいゲストに"公開インタビュー"。毎週 木曜夜のオンラインイベントをチェック! (詳細はこち ら)

だからこそPrivateer Spaceは、サービスを無償で提供している。フィールディングは基調講演で、「このようなサービスは将来のマーケットになるべきではないと思っています」と繰り返し、「衛星やスペースデブリの衝突を回避するために、企業が宇宙コミュニティから料金を徴収することは非常に危険なビジネスモデルです」と発調した。

安全な宇宙環境を守り続けるには、ひとつの企業が権利を独 占せず、宇宙コミュニティが互いにリソースを提供し合い、協 力していく必要がある。Privateer Spaceは、その橋渡し役にな ろうとしているのだ。



宇宙ゴミ問題のための市民駆動型システム「TruSat」

- ・(おそらく) 中断してしまったプロジェクトだったが、着想として はとても面白いプロジェクト。
- ・Tokenomicsが進歩すれば、同様のプロジェクトがサステイナブ ルなものとなってして誕生するかもしれない...

衛星の軌道情報を「より正確に把握」

「TruSat」のアプリは、ユーザーが肉眼で確認できる衛星の情報を送信できるように設計されており、衛生の情報を収集することによって数千基も存在する衛星の軌道に関する情報をより 正確に把握するために使用されると説明されています。ブロックチェーン技術はこれらのデータを記録する際に使用され、起動データの透明性を高め、データが改ざんされていないことを証明するために使用されるとのことです。

現在リリースされているソフトウェアのバージョン0.1は「初期のベータ版」であるとされており、地球上の複数の地点からの観測に基づいて衛星の軌道を決定するコアソフトウェアエンジンを検証するためのものであるとのことです。

ConsenSysは"宇宙開発の民主化"に向けた取り組みを以前から行なっており、昨年11月頃には小惑星採掘会社である「Planetary Resources」を買収しています。コンセンシスの創業者である Joseph Lubin(ジョセフ・ルービン) 氏は「TruSat」について『宇宙の取り組みを民主化し、多様化し、分散化するというミッションの最初のステップだ』と語っています。

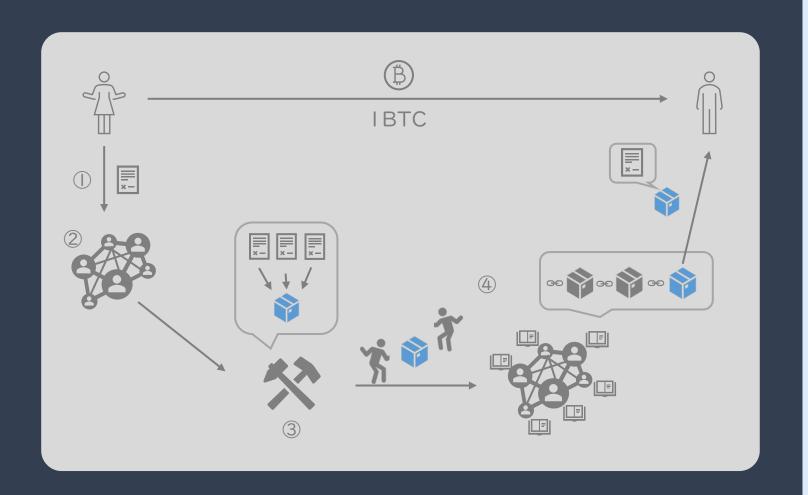
ブロックチェーンの動作メカニズム

今回はスキップします。

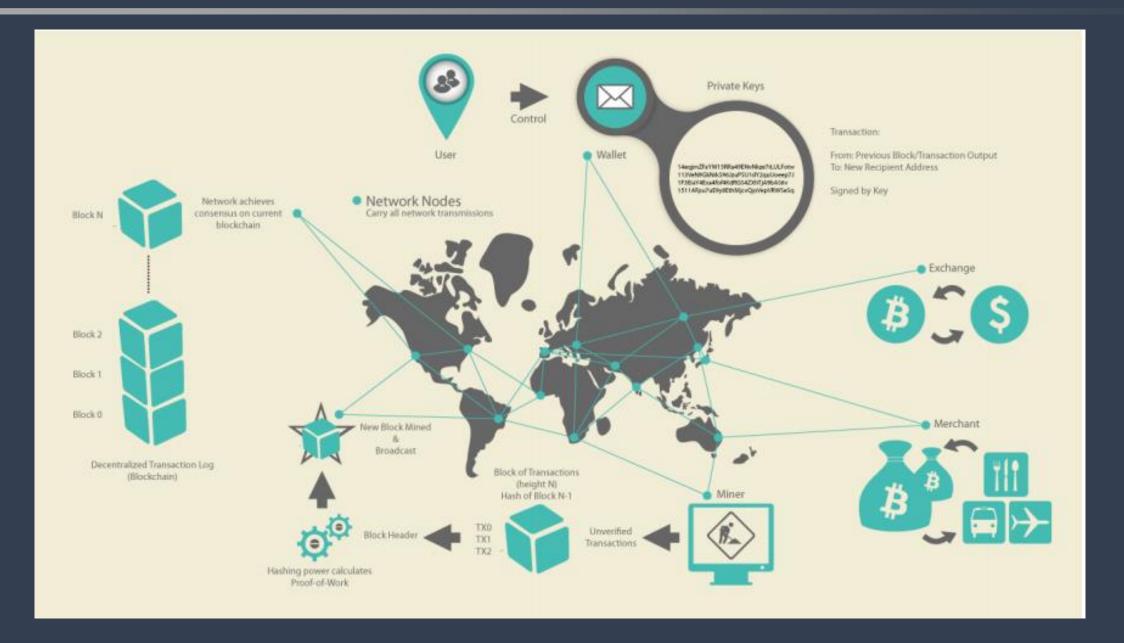
動作メカニズム ~ビットコインでの送金を例として~

BTCが送金されるまでの流れ

①Tx 作成/送信 >> ② Tx 検証/伝搬 >> ③ ブロック作成 >> ④ブロック検証/承認



動作メカニズム ~ビットコインでの送金を例として~



今回はスキップします。

ブロックチェーンの特徴

・ブロックチェーンの分類や種類により特徴は異なるが、一般的 には以下のような特徴がある。

トレーサビリティ



チェーンを辿るくことで、時系列的にトランザクションを辿ることができる。

耐改竄性



暗号学的技術を用いることで、改ざん検出 が容易である。

分散性/耐障害性



分散管理された仕組みにより、 障害に対して耐性が高い。

高い透明性

ネットワークの参加者であれば、だれでも 取引の内容を確認できる。

効率化

スマートコントラクトを活用した効率化や、 プラットフォーム間のやり取りの効率化が 図れる可能性がある。

ブロックチェーンの特徴

・ブロックチェーンの分類や種類により特徴は異なるが、一般的 には以下のような特徴がある。

トレーサビリティ



チェーンを辿るくことで、時系列的にトランザクションを辿ることができる。

耐改竄性



暗号学的技術を用いることで、改ざん検出 が容易である。

分散性/耐障害性



分散管理された仕組みにより、 障害に対して耐性が高い。

高い透明性

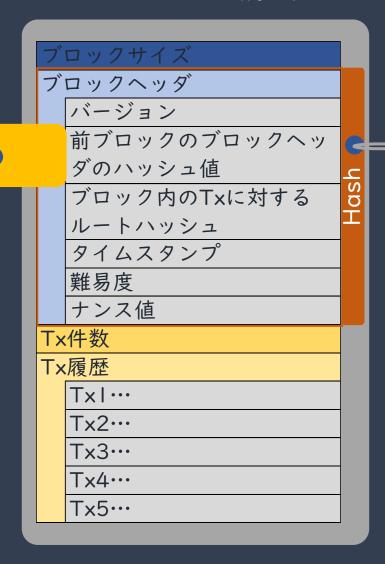
ネットワークの参加者であれば、だれでも 取引の内容を確認できる。

効率化

スマートコントラクトを活用した効率化や、 プラットフォーム間のやり取りの効率化が 図れる可能性がある。

ビットコインにおけるブロックチェーン

ブロックチェーンの構造

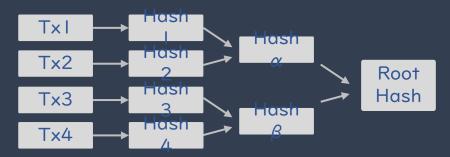


■ 前ブロックのブロックヘッダのハッシュ値

- ・ひとつ前のブロックヘッダを一方向性ハッシュ関数で ハッシュ化した値
- ・これによりブロックとブロックをつなげることができる。

■ ブロック内のTxに対するルートハッシュ

- ・ブロックに含まれるトランザクション(Tx)のハッシュ値
- ・マークルツリーを用いたデータ要約が行われている。

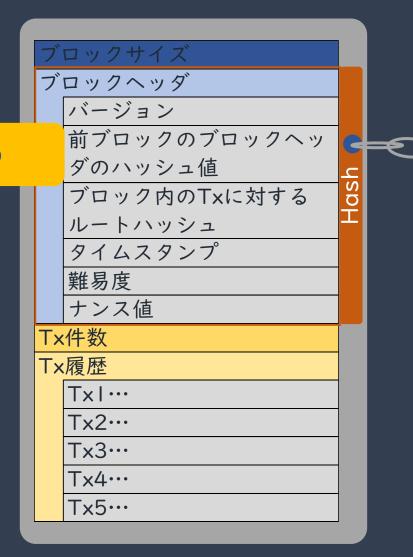


■ 各トランザクション

・各トランザクションは、トランザクション作成者の電子署名 によって真正性を担保している。

ビットコインにおけるブロックチェーン

ブロックチェーンの構造



ブロックサイズ ブロックヘッダ バージョン

前ブロックのブロックへッ ダのハッシュ値

ブロック内のTxに対する ルートハッシュ

タイムスタンプ

難易度

ナンス値

Tx件数

Tx履歴

TxI...

Tx2...

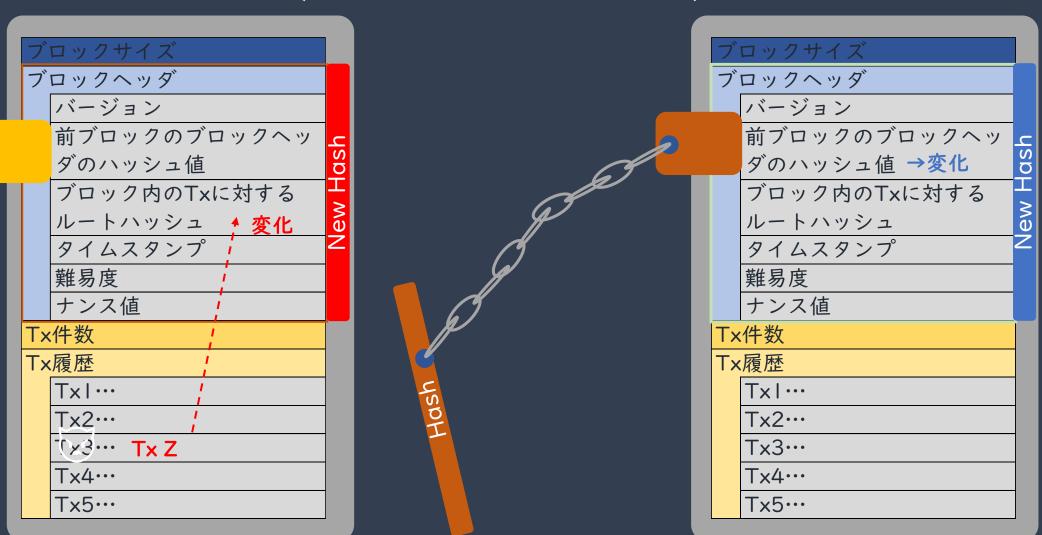
Tx3...

Tx4...

Tx5...

ビットコインにおけるブロックチェーン

ブロックチェーンの構造 (改ざんしようとしたケース)



ブロックチェーンの特徴

・強みとして挙げられる特徴が、逆に注意する点になる場合もあ る。



高い透明性



機微な情報の扱いに 注意が必要

今回はスキップします。

- ネットワークの参加者による分類
 - ・パブリックチェーン オープンで誰でも参加できるブロックチェーン
 - ・プライベートチェーン特定の管理主体が存在し、限定された参加者のみが参加できるブロックチェーン
 - ・コンソーシアムチェーン 複数の管理主体が存在する<u>ブロックチェーン</u>

		トランザクション承認			
		誰でも可能(自由参加型)	権限が必要(許可型)		
トランザクション	誰でも可能	公開型	公開-許可型		
閲覧・作成		• ビットコイン	Sovrin (Hyperledger Indy)		
		• イーサリアム			
	制限		非公開型 コンソーシアム型		
			• mijin	Hyperledger Fabric	
			 miyabi 	Hyperledger Iroha	
				• Corda	
				• Quorum	

パブリックチェーンとは

- ・オープンで誰でも参加できるブロックチェーン
- ・いつでも誰でも自由に参加/脱退することができる。
- ·例) Bitcoin, Ethereum

パブリックチェーンで色濃くなる特徴

非中央集権性



透明性



プライベートチェーンとは

- ・特定の管理主体が存在し、限定された参加者のみが参加で きるブロックチェーン
- ・ネットワークの参加者を把握でき、悪意を持つ参加者が含 まれるリスクを抑えやすい。
- ・厳格なコンセンサスアルゴリズムが不要となり、スピー ディな運用、柔軟な運用が行いやすい。

プライベートチェーンで色濃くなる特徴

中央集権性が高まる





コンソーシアムチェーンとは

- ・複数の管理主体が存在するブロックチェーン
- ・複数の企業や団体でコンソーシアムを形成し、コンソーシ アムメンバで管理を按分し、責任やコストを分散させるこ とができる。
- ・プライベート型と、パブリック型の中間にあたるような立 ち位置。

(参考) Public-Permissioned型

・ Public-Permissioned型は、トランザクションの閲覧・削 正は誰でもできるが、承認は権限を与えられたものしか実 施できない。

		トランザクション承認			
		誰でも可能(自由参加型)	権限が必要(許可型)		
トランザクション	誰でも可能	公開型	公開-許可型		
閲覧・作成		• ビットコイン	Sovrin (Hyperledger Indy)		
		• イーサリアム			
	制限		非公開型 コンソーシアム型		
			• mijin	Hyperledger Fabric	
			• miyabi	Hyperledger Iroha	
				• Corda	
				• Quorum	

	パブリック型	プライベート型	コンソーシアム型	
プラットフォーム例	BitCoin	Hyperledger	Corda	
	Ethereum	Enterprise Ethereum	プライベート型と同様	
参加者	誰でも参加可能(悪意の ユーザを想定)	管理主体(団体/企業)が 許可	複数の管理主体(団体/企 業)がそれぞれ許可	
分散度	高い	比較的低い	高くできる	
認証の厳格性	厳格な認証が必要	簡易な認証でも可	プライベート型に準じる	
認証速度	遅い	比較的速い	プライベート型に準じる	
インセンティブ	トークン(基軸通貨)	不要	プライベート型に準じる	
秘密情報の取り扱い	可能なものもある	可能	プライベート型に準じる	
仕様変更	難しい	比較的容易	プライベート型に準じる	

今回はスキップします。

ブロックチェーンの課題

ブロックチェーンの課題例

- ・ブロックチェーンには以下のような課題がある。
- ・これらの解決を解決すべく、日々開発が進められている。

	自由参加型	許可型		
	公開型	コンソーシアム型	非公開型	
即時性	>			
システム変更の難しさ	>			
スケーラビリティ問題	*			
トランザクション処理速度	~			
電力消費	✓ (PoW)			
51%攻撃	✓ (PoW)			
責任の所在	~			
量子コンピュータ耐性	~	~		
秘密鍵の管理	✓	~	✓	
相互運用性	✓	✓	✓	
オラクル問題	✓	✓	✓	
個人情報保護	~	✓	*	
機密データの運用	~	✓		
競合会社間でのインフラ・ガバナンス共有		~		

UI/UX, 国内法整備…

ブロックチェーンの課題

スケーラビリティ問題

- <u>・スケーラビリティ:</u>トランザクション処理量の拡張性
- ・ブロックチェーンが一定時間に処理できるトランザクションの量は、「ブロックサイズ」「ブロックの生成時間」として各ネットワークごとに決まっている。
- 例) ビットコイン: ブロックサイズ: IOMB / ブロックの生成間隔: IO分
- →多くのトランザクションが同時に集中してしまうと、処理 速度が低下してしまう恐れがある。

ファイナリティ問題

- ・ファイナリティのある決済 (日本銀行による定義):
 - ①受け取った金額が後になって紙くずになったり消えてしまったりし ない
 - ②決済方法について、行われた決済が後から絶対に取り消されない
- ・ブロック生成の際、コンセンサスアルゴリズムを用いることで 皆が同じブロックチェーンを保持できるようにしているが、異 なる台帳となってしまう(チェーンがフォークする)可能性は完 全にゼロにはできない。
 - →取引内容が覆る可能性を完全にゼロとすることはできない

ブロックチェーンの課題

スケーラビリティ問題

- <u>・スケーラビリティ:</u>トランザクション処理量の拡張性
- ・ブロックチェーンが一定時間に処理できるトランザクションの量は、「ブロックサイズ」「ブロックの生成時間」として各ネットワークごとに決まっている。
- 例) ビットコイン: ブロックサイズ: IOMB / ブロックの生成間隔: IO分
- →多くのトランザクションが同時に集中してしまうと、処理 速度が低下してしまう恐れがある。

ファイナリティ問題

- ・ファイナリティのある決済 (日本銀行による定義):
 - ①受け取った金額が後になって紙くずになったり消えてしまったりし ない
 - ②決済方法について、行われた決済が後から絶対に取り消されない
- ・ブロック生成の際、コンセンサスアルゴリズムを用いることで 皆が同じブロックチェーンを保持できるようにしているが、異 なる台帳となってしまう(チェーンがフォークする)可能性は完 全にゼロにはできない。
 - →取引内容が覆る可能性を完全にゼロとすることはできない

ブロックチェーンの特徴

・ブロックチェーンの分類や種類により特徴は異なるが、一般的 には以下のような特徴がある。

トレーサビリティ



チェーンを辿るくことで、時系列的にトランザクションを辿ることができる。

耐改竄性



暗号学的技術を用いることで、改ざん検出 が容易である。

分散性/耐障害性



分散管理された仕組みにより、 障害に対して耐性が高い。

高い透明性

ネットワークの参加者であれば、だれでも 取引の内容を確認できる。

効率化

スマートコントラクトを活用した効率化や、 プラットフォーム間のやり取りの効率化が 図れる可能性がある。

ブロックチェーンの特徴

・ブロックチェーンの分類や種類により特徴は異なるが、一般的 には以下のような特徴がある。

トレーサビリティ



チェーンを辿るくことで、時系列的にトランザクションを辿ることができる。

耐改竄性



暗号学的技術を用いることで、改ざん検出 が容易である。

分散性/耐障害性



分散管理された仕組みにより、 障害に対して耐性が高い。

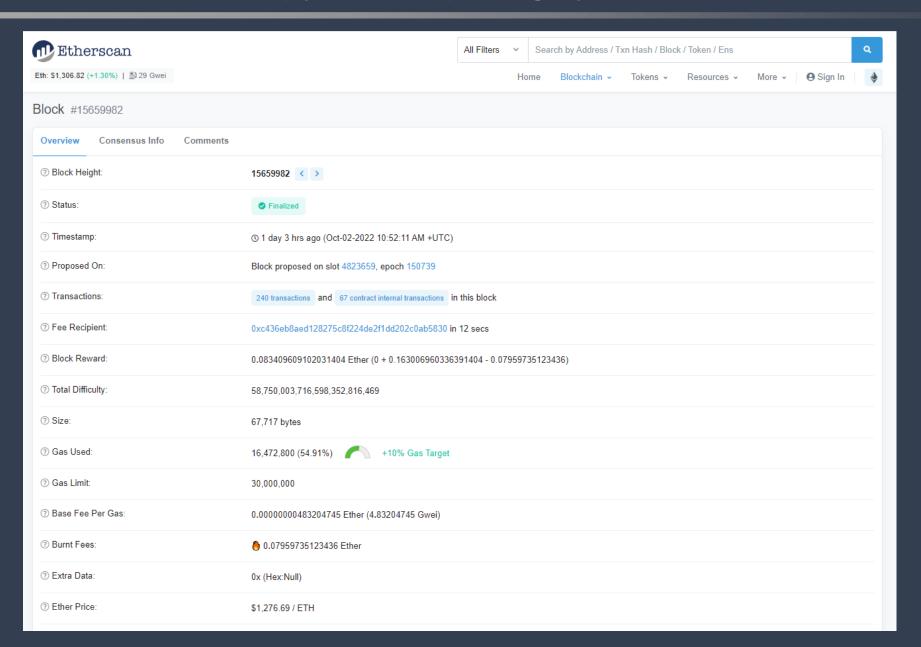
高い透明性

ネットワークの参加者であれば、だれでも 取引の内容を確認できる。

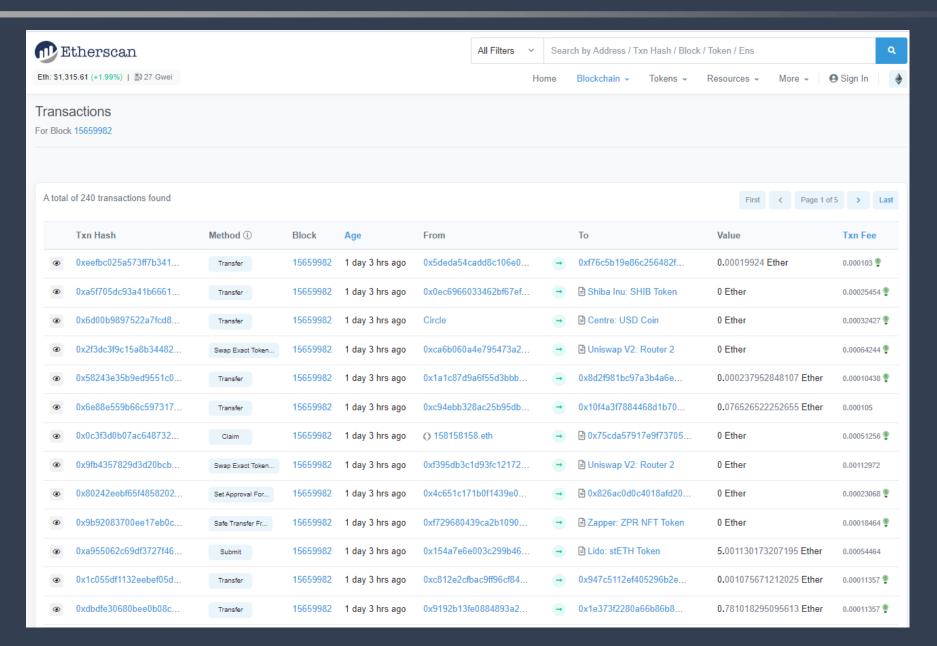
効率化

スマートコントラクトを活用した効率化や、 プラットフォーム間のやり取りの効率化が 図れる可能性がある。

ブロックチェーンの特徴 ~高い透明性~



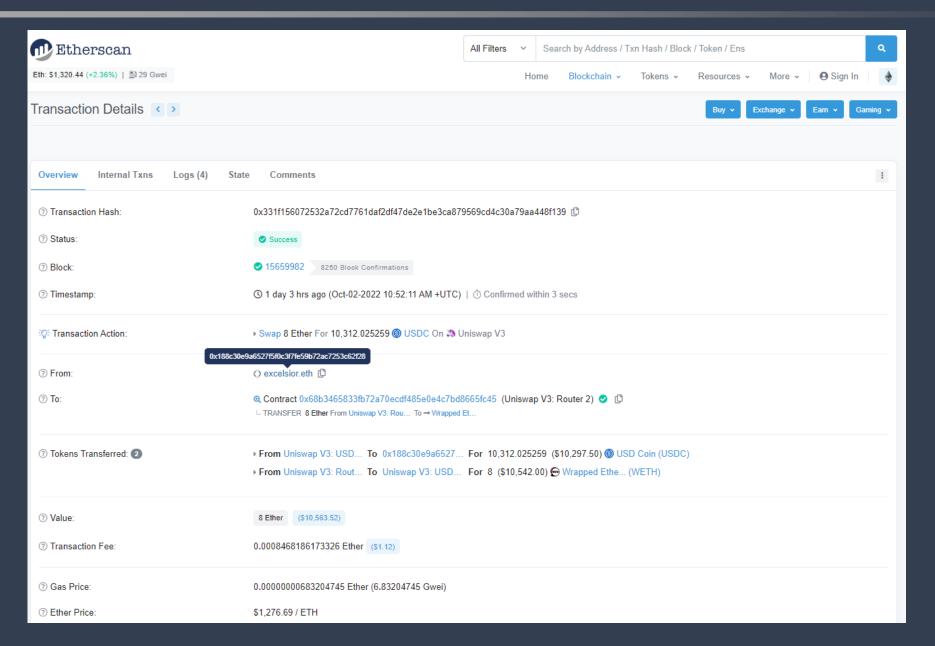
ブロックチェーンの特徴 ~高い透明性~



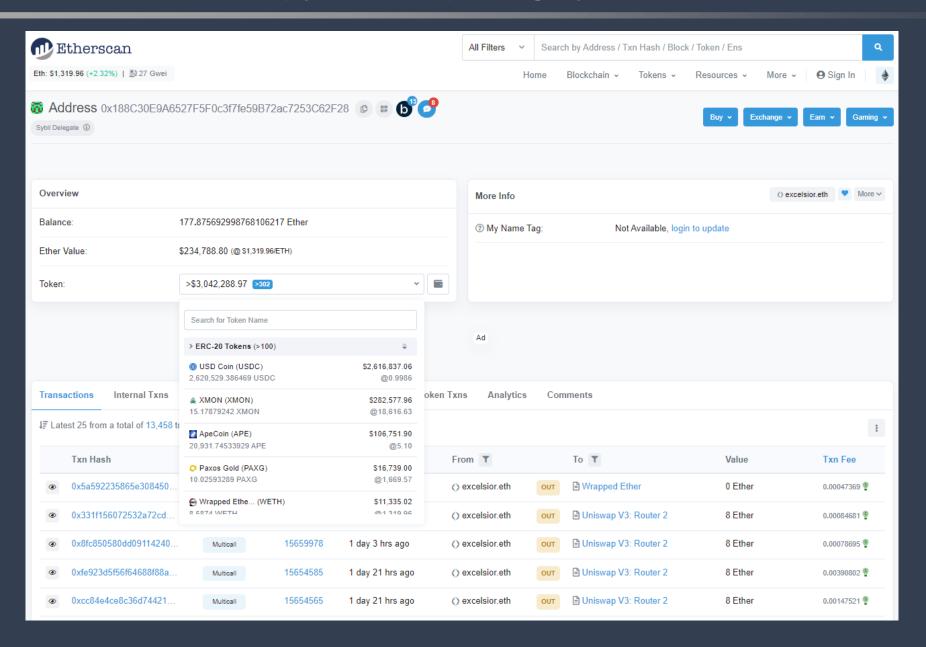
ブロックチェーンの特徴~高い透明性~

•	0x3ce18e22411a16d71d	Cancel	15659982	1 day 3 hrs ago	0xc0afeadc6f1562e90d1	-	B Seaport 1.1	0 Ether	0.00038971 🔮
•	0x5fc693d9b181d961af4	Set Approval For	15659982	1 day 3 hrs ago		-	🖹 0x0e559f7771d8fbd2dda	0 Ether	0.00029922 🔮
•	0xd434fb66e71ad06a04	Transfer	15659982	1 day 3 hrs ago	0x0af6d90dafba28e7162	-	0xb72bee3993047f7b61	0.029477996290034 Ether	0.00013297 🔮
•	0x753ac302521816f84b	Mint	15659982	1 day 3 hrs ago		-	a 0x4e32004d8b81847a67	0 Ether	0.00070468 🔮
•	0x7d66a00bf4d769271c	Fulfill Advanced	15659982	1 day 3 hrs ago	0xbb8ffb94269fe5a40ad	-	B Seaport 1.1	0 Ether	0.00138839 🔮
•	0xf3a8df4ee8f95808b2a	Approve	15659982	1 day 3 hrs ago	0x8a249085b16107c897	-	B Shiba Inu: SHIB Token	0 Ether	0.00029755 🔮
•	0x2d5842ff64d6d29fe91f	Transfer	15659982	1 day 3 hrs ago	0xc584a27cb9cde13aef3	-	Huobi 33	24.9998641979476 Ether	0.0001358
•	0x63cb2924a252f3dc53	Transfer	15659982	1 day 3 hrs ago	0x8ac84c959dfa4acdaee	-	0x72995a2edf12f94a0da	0.236353136879776 Ether	0.00013617 🔮
•	0xeb165a6cdb626803f4	Approve	15659982	1 day 3 hrs ago	0x4fd800b4b4b52018dc	-	■ 0x12b6893ce26ea63419	0 Ether	0.0003103 🔮
•	0x96a6b313d3cbc330c6	Transfer	15659982	1 day 3 hrs a (0x1)	excelsior.eth 188c30e9a6527f5f0c3f7fe59b72 ac7253c62f28)	-	Huobi 33	0.1599692654361 Ether	0.00013926
•	0x331f156072532a72cd	Multicall	15659982	1 day 3 hrs ago	() excelsior.eth	-	☐ Uniswap V3: Router 2	8 Ether	0.00084681 🔮
•	0x09c2ca9fef08bbe38f3f	Transfer From	15659982	1 day 3 hrs ago	0x3018018c44338b9728	-	Tether: USDT Stablecoin	0 Ether	0.0002986 🔮
•	0x7f64257a61effbfc4f7a	Fulfill Basic Or	15659982	1 day 3 hrs ago	0x3974e6b8d4d6fd094a	-	B Seaport 1.1	0.0035 Ether	0.00104873 🔮
•	0xbfc058c857dc488b027	0xca350aa6	15659982	1 day 3 hrs ago	0x7830c87c02e56aff27fa	-	Coinbase 10	0 Ether	0.00102238 🔮
•	0x432f3695b0b3b717e2	Transfer	15659982	1 day 3 hrs ago	0xb739d0895772dbb71a	-	0x7d646b4a762bcf0a18	0.11624875 Ether	0.00014347 🔮
•	0xee8c48714c4a3ced82	Transfer	15659982	1 day 3 hrs ago	Coinbase 6	-	0x8566181316a5a9cecb	0.0074393 Ether	0.00014347 🔮
②	0x6c61531819afc6c87d1	0x1a1da075	15659982	1 day 3 hrs ago	0x7830c87c02e56aff27fa	-	Coinbase 10	0 Ether	0.00039165 🔮
•	0xa916c9006c36511383f	Transfer	15659982	1 day 3 hrs ago	0xef7c7be4604ee21f6e2	-	Coinbase 4	0.00044277 Ether	0.00014347 🔮
②	0x0d806aff5fb3ebee93b	Transfer	15659982	1 day 3 hrs ago	0xac17603ffd65c6497a3f	-	Coinbase 4	0.00044277 Ether	0.00014347 🔮
②	0xed3bc8499233da7fa2	Transfer	15659982	1 day 3 hrs ago	0xc0a7d54f439c0ebf313	-	Coinbase 4	0.002248790424962 Ether	0.00014347 🔮
A	0v107v310#18Ev0E7004	Transfer	15659982	1 day 3 hrs ago	0xbeb386b0470c452166	-	Coinbase 4	0.00044277 Fther	0.00014347 😵

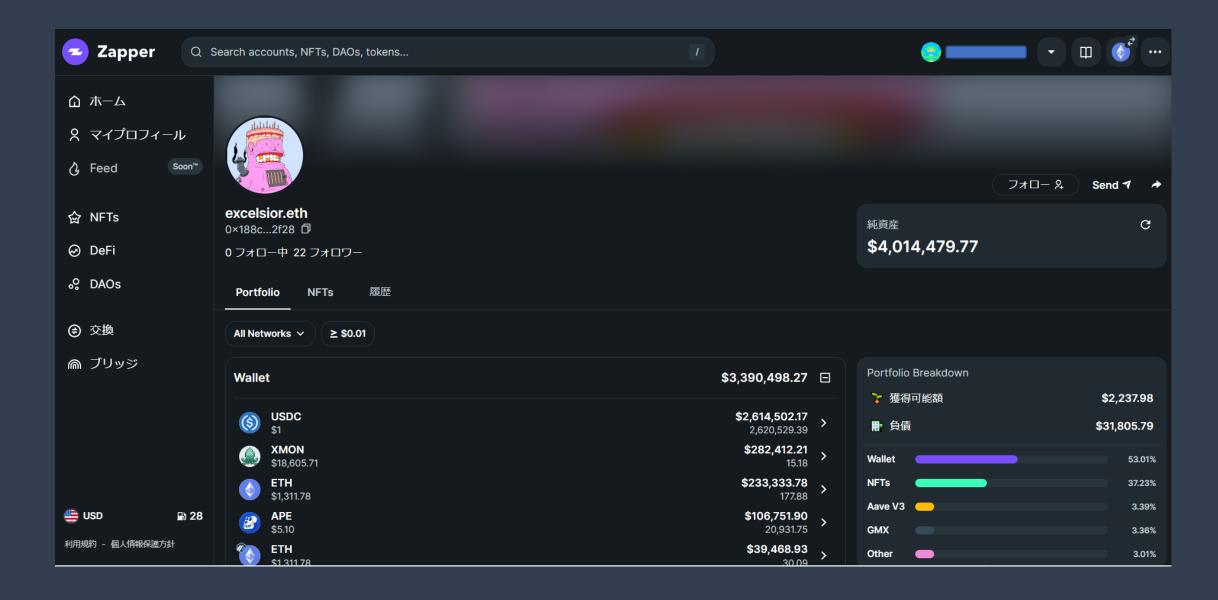
ブロックチェーンの特徴 ~高い透明性~

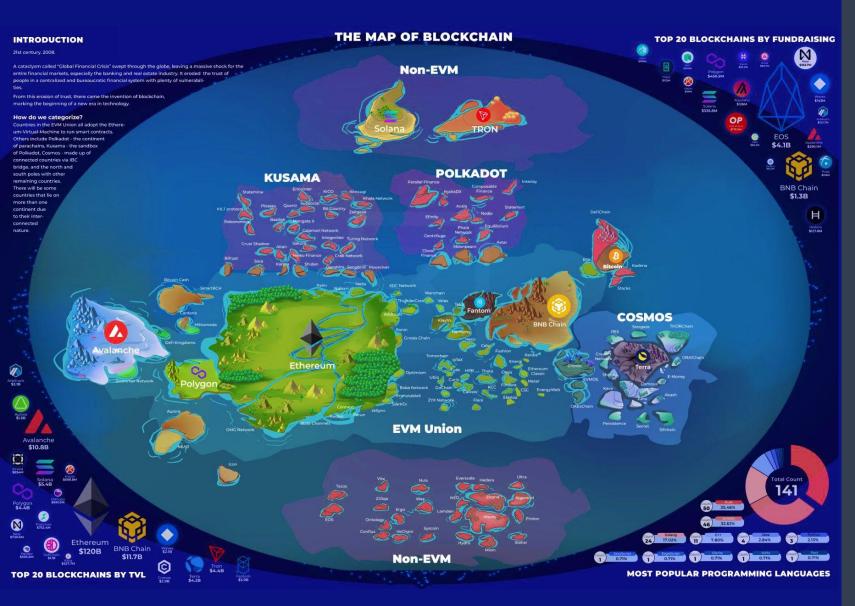


ブロックチェーンの特徴~高い透明性~



ブロックチェーンの特徴 ~高い透明性~





~群雄割拠~

世は、群雄割拠の時代を迎える一。

猛者どもは、しのぎを削り、 栄華を極めるものあれば、 滅んでいくものあり。

待つ未来は、淘汰か、共存か。

はたや、更なる強者による破滅と再生か。

その答えが出たとき、人類はまた大きく 一歩、歩みを進めることができるだろう。



Dashboards

ılı DeFi

Overview

Chains

Airdrops

Oracles

Forks

Top Protocols

Comparison NEW

Categories

Recent

Languages

- % Yields
- \$ Stables
- ♦ Liquidations
- ıl DEXs
- (Fees

Search... Chains → All Chains INCLUDE IN TVL: No option selected **Total Value Locked All Chains** 100% Others: (8.98%) Fantom: (0.84%) Cronos: (1.31%) -80% Optimism: (1.69%) Arbitrum: (1.77%) Solana: (2.39%) -60% Polygon: (2.45%) Avalanche: (2.92%) 40% BSC: (9.88%) -

Ethereum: (57.57%)

20%

0%

2021

Oct

Apr

Jul

Oct

2022

Q

Download all data in .csv

Jul

Oct

>

149 Chains V

Filters

Tron: (10.2%)

ブロックチェーンに興味を持ってくださった方へ

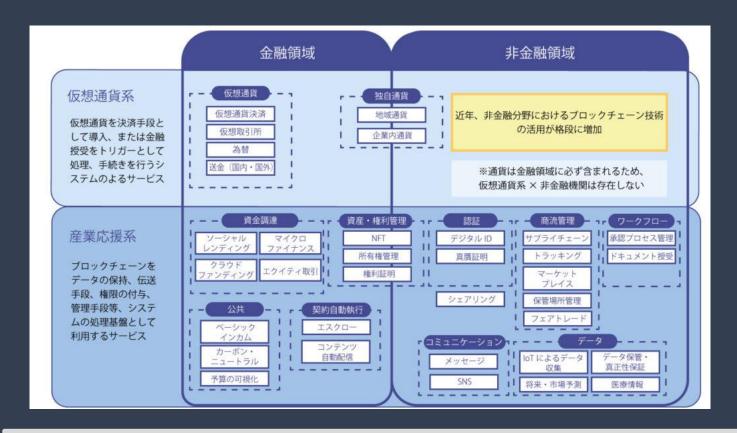
今日お話しした内容をもっとわかりやすく解説してくれる教材を紹介します。

- 【保存版】超わかりやすいブロックチェーンの基礎知識
 - · URL https://www.softbank.jp/biz/blog/business/articles/201804/blockchain-basic/
 - ・読了目安: 30分
 - ・2018年と少し古めの記事ですが、入門編としては一番わかりやすいと思います。
- 日本製薬工業協会:「ブロックチェーンって,なに?」
 - · URL https://www.jpma.or.jp/information/evaluation/results/allotment/lofurc000000al7w-att/block_chain.pdf
 - ·読了目安: |時間30分~2時間
 - ・浅すぎず、深すぎず。長すぎず、短すぎず。とてもバランスの取れた資料です。 - 入門編の後にぜひおすすめです。(医療分野でのブロックチェーンの活用例もあって面白いと思います。)
- ブロックチェーン関連トピックの概要 Defi、NFT、DAO、web3まで(後藤あつし)
 - · URL https://speakerdeck.com/gotoa/blockchain-topics-202207?slide=45
 - ・ユースケースをもっと知りたい方へおすすめの資料です。

今回はスキップします。

ユースケース

- ・「台帳技術」という側面
- ・「トークンエコノミー」という側面 (Tokenomics)



もっとカオスな状況になっている

台帳技術としてのユースケース

商品流通トレーサビリティへの応用

C Currency Port

【既往技術】製品指紋技術とブロックチェーン技術を応用した真贋鑑定



製品を拡大鏡レベルで見たときの製造痕跡などの特徴のデータをブロックチェーンに記録して製品の個体を識別

- ✓ 流通トラッキングにブロックチェーンを活用
- ✓ 流通の信頼性を担保する真贋鑑定技術

発展途上国などで問題になっている 正規品と模造品のサイレントチェンジ 問題の解決の一助に

CO₂NNEX

台帳技術としてのユースケース

PRESS INFORMATION

三菱重工と日本IBM、 CO_2 流通を可視化するデジタルプラットフォーム「 CO_2 NNEX TM 」構築へ取引サイクルを活性化しカーボンニュートラルの早期実現に貢献

2021-05-06

三菱重工業株式会社

日本アイ・ビー・エム株式会社

三菱重工業株式会社(以下、三菱重工)と日本アイ・ビー・エム株式会社(以 下、日本IBM)は、二酸化炭素(CO₂)の排出をネット・ゼロにするカーボンニ ュートラル(脱炭素社会)に貢献するため、CO₂を有価物として活用する新社会

への転換を目指すデジタルプラットフォーム「 CO_2NNEX^{TM} 」(コネックス)の

構築に向けて協力し、来るべき新世紀へのクリーンな地球環境の保全に正面から取り組んでいきます。具体的には、現状では貯留や転換利用と選択肢が限られているCO2の流通を可視化・整流化することにより用途の選択肢を広げ、全ステークホルダーが一丸となって地球環境保護に貢献できる世界観を生み出します。

画像を表示

フィジカル世界におけるステークホルダーは、エミッターや回収業者、転換利用者、貯留事業体、輸送業者、排出権やクレジットの取引を扱う事業者などです。こうしたさまざまなビジネスプレーヤーを、パイプラインやトラック輸送、鉄道、船舶といったインフラでつなぎ、流通経路を確立します。

ここで重要となるのは流通の可視化です。共通のインターフェイスを持つスマート・メーターを 導入し、co₂が今どこにどれだけあって、どこに向かっているのかを一目で把握できるようにす る。同時に、それらをデータ化することでco₂の削減量も把握できるようになります。この仕組 みがさきほどのフィジカル世界と対になるサイバー世界、デジタルツインとなります。

それぞれのプレーヤーはブロックチェーンによってつながれ、CO2の取引を公平かつ安全に行い、改ざん不可能な証跡として残すことが可能です。こうした正確な記録は、補助金や投資、クレジットなどの金銭価値を賦課する際にも不可欠なものです。

CO₂NNEX

台帳技術としてのユースケース

PRESS INFORMATION

三菱重工と日本IBM、 CO_2 流通を可視化するデジタルプラットフォーム「 CO_2 NNEX TM 」構築へ取引サイクルを活性化しカーボンニュートラルの早期実現に貢献

2021-05-06

三菱重工業株式会社

日本アイ・ビー・エム株式会社

三菱重工業株式会社(以下、三菱重工)と日本アイ・ビー・エム株式会社(以 下、日本IBM)は、二酸化炭素(CO₂)の排出をネット・ゼロにするカーボンニ ュートラル(脱炭素社会)に貢献するため、CO₂を有価物として活用する新社会

への転換を目指すデジタルプラットフォーム「 CO_2NNEX^{TM} 」(コネックス)の

構築に向けて協力し、来るべき新世紀へのクリーンな地球環境の保全に正面から取り組んでいきます。具体的には、現状では貯留や転換利用と選択肢が限られているCO2の流通を可視化・整流化することにより用途の選択肢を広げ、全ステークホルダーが一丸となって地球環境保護に貢献できる世界観を生み出します。

画像を表示

フィジカル世界におけるステークホルダーは、エミッターや回収業者、転換利用者、貯留事業体、輸送業者、排出権やクレジットの取引を扱う事業者などです。こうしたさまざまなビジネスプレーヤーを、パイプラインやトラック輸送、鉄道、船舶といったインフラでつなぎ、流通経路を確立します。

ここで重要となるのは流通の可視化です。共通のインターフェイスを持つスマート・メーターを 導入し、co₂が今どこにどれだけあって、どこに向かっているのかを一目で把握できるようにす る。同時に、それらをデータ化することでco₂の削減量も把握できるようになります。この仕組 みがさきほどのフィジカル世界と対になるサイバー世界、デジタルツインとなります。

それぞれのプレーヤーはブロックチェーンによってつながれ、CO2の取引を公平かつ安全に行い、改ざん不可能な証跡として残すことが可能です。こうした正確な記録は、補助金や投資、クレジットなどの金銭価値を賦課する際にも不可欠なものです。